その他

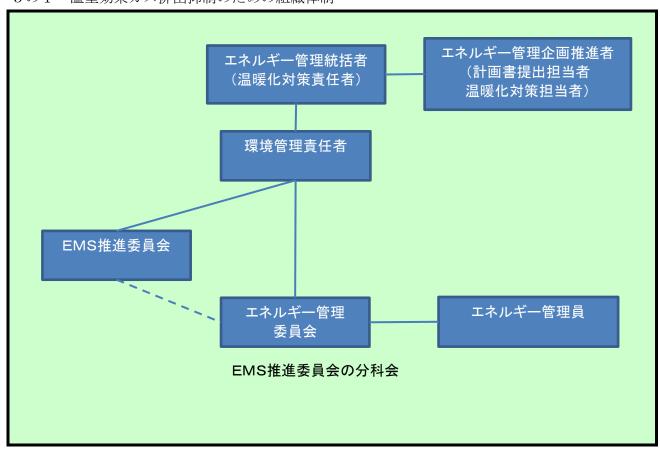
事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要									
氏名又は名称					ルビコン	/株式会社			
代表者名	氏名	名		佐藤 光一		役職名	代表取約	帝役社長	
主たる事務所 の所在地			長野県伊那市西箕輪1938-1						
主たる事業	大分	·類		E 製造業					
の分類	中分	·類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業						
主たる事業 の概要	コンラ	ノデンサの製造・販売							
	V =	条例	第12条第1	項第1号及び条件	列施行規	則第4条第	2項第1号に該当す	うる事業者	
制度に該当する		条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者							
要件		条例第12条第1項第2号に該当する事業者							
		上記	以外(任意	意提出)の事業	当				
		基準	年度実績	最終年度の目標	第一年	F度報告	第二年度報告	第三年度報告	
原油換算エネル ギー使用量	k1		2, 718	2, 636					
エネルキ゛ー起源二酸化 炭素排出量	CO ₂		4, 975	4, 826					
その他ガス 排出量合計	t- CO ₂		0						
自動車の台数	台		28						
自動車からの 排気ガス合計	t- CO ₂		60						
2 基準年度、記	計画期	間別	ない報告対	象年度					
基準年度	2	2019	年度	計画期	間	2020 年	度~ 2022 年	度	
報告対象 年度			年度						
3 計画書(報行		のな	念表方法等						
□ ホームペー	-								
□□ 印刷物の閲	□ 印刷物の閲覧 http://www.rubycon.co.jp								

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

当社は、私たちを育んできた天竜川の清流・伊那谷の豊かな自然と グローバルな事業活動の展開との限りない調和を図るため、 「私が地球を守ります」を合言葉に、経営と環境の共存を維持することに、 不断の努力を行う。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

なし

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

6 Ø 1	エネル	ギー起源二酸化炭素	素の排出抑制に	係る目	標及び実績		
基準生	年 度	基準排出量	4, 975	t-CO ₂	生産数量	455. 00	単位 百万本
2019	年度	調整後排出量	4, 975	t-CO ₂	基準原単位	10. 93	t-CO ₂ / 百万本
目標生	年 度	目標排出量	4, 826	t-CO ₂	目標原単位	10.60	t-CO ₂ / 百万本
2022	年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%
目標設策関する記		省エネ法で提出し ともに、ピークカ				の抑制目標を	達成すると
第一年	主度	排出量		t-CO ₂	生産数量		単位
<i>א</i> ז T	-/文	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /
2020	年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%
2020	十反	削減率		%			
排出量 ⁴ 増減理							
第二年	∶疳	排出量		t-CO ₂	生産数量		単位
NJ 1	/X	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /
2021	年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%
2021	十汉	削減率		%			
排出量等 増減理							
第三年	主度	排出量		t-CO ₂	生産数量		単位
<i>₩</i> —Т	/×	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /
2022	年度	調整後排出量		t-C02	原単位削減率		%
2022	1 1/2	削減率		%			
目標の達 況及び排 の増減球	出量						

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

000247114	-起源二酸化炭素以外	の温至効果	カムの	排出抑制に係る日標 <i>及</i>	ひ 美領
基 準 年 度	基準排出量	0	t-CO ₂		単位
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率	%
目標設定に 関する説明					
第一年度	排出量		t-CO ₂		単位
另 一 中	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /
2020 年度	調整後排出量		t-C02	原単位削減率	%
2020 年度	削減率		%		
排出量等の 増減理由					
第二年度	排出量		t-CO ₂		単位
	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /
2021 年度	調整後排出量		t-C02	原単位削減率	%
JV01 /X	削減率		%		
排出量等の 増減理由					
第三年度	排出量		t-CO ₂		単位
分二十 /文	削減率		%	原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	調整後排出量		t-C02	原単位削減率	%
出版 十汉	削減率		%		
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由					

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

6の3 自動車		化炭素の排出抑制に	-徐るほ	目標及い美領	
基準年度	基準排出量	60	t-CO ₂		単位
2019 年度				基準原単位	t-CO ₂ /
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率	%
目標設定に 関する説明					
第一年度	排出量		t-CO ₂		単位
另 平度	沙山里			原単位	t-CO ₂ /
2020 年度	削減率		%	原単位削減率	%
排出量等の 増減理由					
第二年度	排出量		t-CO ₂		単位
77-12	лдз	·山 <u>里</u>		原単位	t-CO ₂ /
2021 年度	削減率		%	原単位削減率	%
排出量等の 増減理由					
<i>体</i> 一斤庄	센트 [1] 루스		+ 00		単位
第三年度	排出量		t-CO ₂	原単位	t-CO ₂ /
2022 年度	削減率		%	原単位削減率	%
目標の達成状 況及び排出量 の増減理由					

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
$I \sim \Pi$	I -1	燃料使用量等の 定期的な把握						
$I \sim II$	I -2	エコドライブの 励行						
Ш	Ш-1	次世代自動車の 導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の 導入						

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

		区分			計画		状況
番号	区分	区分 番号	対策内容	実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	380752	LEDの採用	2020~ 2022	83		
2	エネ起	330299	夏季屋根散水による空調省エネ	2020~ 2022	180		
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模	基準	基準年度		第一年度		年度	第三年度	
(原油換算エネルギー使用量)	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3, 697						
1,500kl未満	3	1, 278						
合計	4	4, 975						

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 $(t-C0_2)$

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N_2O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF_3				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイ ブリッド自動車	0			
電気自動車	1			
燃料電池自動車	0			
クリーンディーゼ ル自動車	0			
その他 (ハイブリッド等)	7			
合計	8	0	0	0
自動車総数	28			
次世代車導入割合	28.6			

13 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関 の利用促進	
自 転 車 の利用促進	
来 客 者 の 交 通 対 策	最寄の駅からの地図をホームページに掲載。 要所に案内板を設置。
物流の合理化	

14 環境配慮活動状況

	環境配慮活動	活動内容の詳細			
來現的應伯數		実施内容	実施年度		
	SDGs	長野県SDG s 登録制度へ登録している			
7	塚児ヾ个ノノノ	マネジメント 環境マネジメントシステムを導入している			
	システム	名称 IS014001	1999年~		
	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) 支持を表明している			
	グリーンボンド	グリーンボンドを発行している			
	ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している			
	SBT	SBT を策定済、またはコミットしている			
	RE100	□ RE100にコミットしている			
	RETOO	□ 再エネ100宣言RE Action へ参加している			
	その他				

15 自日	由記載欄